

# ながえの里だより



## 【基本理念】

わたくしたちは、すべての人に等しく  
仁愛の精神をもって接し、  
心の通う医療の実践に努めます。

## 【基本方針】

責任：生命の尊厳を第一の課題として重んじ責任をもって行動する  
安全：すべての行為に対して細心の注意を払い安全の確保に努める  
協調：チーム医療に徹し互いに協調しその実をあげることに努める  
奉仕：すべての人に等しく仁愛の精神をもって接し医療を通じて社会に奉仕する

## 新年にあたって

—事務長 西村雄二 —

あけましておめでとうございます。本年も、年初めより皆様とおだやかで、明るい笑顔の仕事始めが出来、心よりありがとうございます。本年も一年間、皆様方の力を借り、地域に根ざした、地域に誇れる病院を目指していきましょう。

病院の役員として、今年の私自身の想いと目標を掲げてみます。

1. 全職員が健やかに働くことのできる環境を用意する。
2. 地域住民の皆様が、病院に信頼感を持ち得る環境を整備する。
3. 継続的・計画的に事業を遂行する。

以上3点ほどを上げてみました。このことを実行する為にも、皆様の力と知恵を十分に出していただき、病院が地域住民の健康な生活を支える中心的な役割が果たせるよう、これからも明るく笑顔で共に頑張っていきましょう。



雪が降ると、来院される方や職員の安全の為に、先頭に立って除雪作業にあたる西村事務長

## みんなちがって みんないい（金子みすゞ）—病院長 村尾文規—

人は、独りで生きていくことができない以上 人間の関係性はことさら重要である。

「なぜ働くか？」の鍵も、このあたりにありそうだと思うようになった。「不機嫌な職場」（高橋克徳氏ら著）を引くとギスギスした職場にありがちな風景として一所懸命頑張ったのに反応がない。提案に反応がない。一方的な指示をだしていく。いろいろした空気が蔓延している。挨拶の返事がない。などを挙げている。

近年、面白くなければ、あっさり転職を考える人が多いと聞く。当然のことながら、社員の関係性は希薄になってくる。競争力を回復するためには、社員相互の協力を再構築することは必要不可欠であろう。ふたたび、高橋克徳氏らの高い関係性を得るために意見を引くと、

1) 利益至上から社員至上に舵をきること。2) 会社は社員と共有可能な理念を示すこと。3) 認知風土・感謝風土の創造の重要性を指摘している。

ちなみに、認知風土とは、同僚の良い点を率直に認めて「凄いね、手際がいいですね、教えてください」などの言葉で評価し、感謝風土とは、同僚の行為に感謝して素直に「ありがとう」という言葉で感謝の気持ちを表すことである。

事務長、看護部長、管理部長や年末に示した私の提言でわかるように、私たちの認知風土および感謝風土の創造は、すでにスタートしています。提案の方向性に間違いないことは明らかです。

「働きやすい環境を創造しよう」という理念を、常に心に描きながら提言を実践すれば、認知の言葉や感謝の言葉は私たちの心の中に連動して伝染する。やがて、お互いに「みんなちがって みんないい」と言える関係性の高みへと続き、安らぎの空間が醸成されるはずである。

—節 分 レクリエーション係 岩見典子 —

2月3日、節分行事を行いました。鬼の面をあしらった福笑いでは、こっけいな顔が出来上がり、患者様は大笑いでした。豆の替わりに新聞紙を丸め鬼に投げる場面でも、必死になって鬼退治をしようとする姿に力強さを感じ、スタッフ一同、患者様から元気をいただきました。鬼は外、福は同仁病院！！

福笑いで出来上がった、こっけいな同仁病院の青鬼・赤鬼？ 素敵な笑顔と大きな福がいっぱいの一日になりました。



金子 みすゞ（かねこ みすゞ、1903年（明治36年）4月11日 - 1930年（昭和5年）3月10日）は、大正時代末期から昭和時代初期にかけて活躍した童謡詩人。本名、金子テル（かねこてる）。



## 職場紹介 栄養課



患者様や家族の方と、顔をあわすことが少ない私たちですが、いつも食事をされる患者様のことを思いながら、明るく元気に頑張っています。今回は、スタッフ一人ひとりの趣味を紹介したいと思います。



写真左から、藤井、妹尾、  
谷口、森永、桜

休日に母とバイキングに行く事★食べること大好き！（でも太りたくない）～藤井～

猫3匹と話しをする事（だから猫語がわかります）～妹尾～

音楽鑑賞すること（歌うことも得意です）～谷口～

お琴を習い始めました 練習は楽しいのですが、なかなか上達しません（いつか披露できたらいいな）～森永～

去年300個のチューリップを植えました（大小合わせて）咲いたら皆さん見に来てね！入場無料ですよ～桜～

映画（DVD）観賞することとアミューズメントパークへ時々？～吉岡～

ゴロ寝しながら韓流ドラマ鑑賞（イ・ビョンホンが主人だったらな）～穂田～

手仕事（仕事をする訳ではありませんよ）～中井～

温泉旅行が好きで年2～3回行っています（海外へも行ってみたい）～浅尾～



写真左から、吉岡、穂田、  
中井、浅尾



写真左から、横山、松原、  
酒井、中原

ネットショッピング（主にセール品！！）～横山～

家庭菜園（まだまだ未熟で収穫は小ぶり）～松原～

野球・サッカー観戦に夢中です、忙しい生活を韓国ドラマに心癒されてます～酒井～

野球観戦（球場へ行くと性格が豹変します）～中原～

栄養課の職員 それぞれ個性ある趣味や特技を持っています。

## ～栄養課 新メンバー紹介～



### 妹尾知佐子

昨年8月より勤務しております  
妹尾です。

とても良い環境の中で働かせて  
いただいておりますが、まだ未熟な私ですので、皆  
さんよろしくお願いします。



### 藤井菜摘美

2月より、栄養課で勤務させて  
いただいています。まだまだ  
不慣れで覚えることは沢山あ  
りますが、毎日、笑顔で！！  
一生懸命頑張りますのでよ  
ろしくお願いします。



## 城みちるさん 来院

2病棟 上田良子

昨年の12月22日、城みちるさんが当院を訪問され沢山の歌を唄って下さいました。やっぱり歌手！！ とっても上手ですし、気持ちよく聴かせていただきました。普段は歌わない患者様が最初からずっと口ずさんでいる姿に感動し、又、歌の合間のお話しも心温まる話し方で、涙する患者様も多く胸が熱くなりました。城さんの優しい言葉に、私自身もやさしい気持ちにさせていただきました。当院に来て下さった事の御礼を何とかお伝えしたく、当日の様子が放送された時間に広島テレビへFAXをお送りしたところ、城さんのおられる前でお送りしたFAXを紹介していただきました。私達の感謝の思いが伝わったと思います。“人は人と心を通わせる事で、幸福感を味わう、と言われています。城さんと患者様と私達職員との心が通い合った、幸福感いっぱいの一日でした。ぜひとも、また当院に来て下さればと思います。



患者様と握手をしながら話しかけてくださる城みちるさん

持ち前の美声で熱唱！  
みなさんうつとり

## 新 職 員 紹 介



内田由果理 勤務場所:2病棟

50歳近くになっての転職 なかなか仕事もおぼえられず、みなさんの足をひっぱりながら半年が過ぎました。これからも、ご迷惑をかけると思いますがよろしくお願ひします。



中村いずみ 勤務場所:1病棟

昨年の11月に研修を終え、12月1日から1病棟に勤務させて頂いております。日々学ぶ事が沢山あって大変ですが、先輩方に親切に教えて頂きながら頑張っております。どうぞよろしくお願ひします。



田中奈代美 勤務場所:1病棟

1月1日付で1病棟に縁あって働かせてもらう事になりました。覚える事が沢山ありますが、私なりに精一杯がんばりますので、これからよろしくお願ひします。



松本 崇文 勤務場所:2病棟

平成22年12月14日から庄原同仁病院の2病棟でお世話になっている松本崇文です。まだまだ覚えることがたくさんありますが、一生懸命頑張っていますのでよろしくお願ひします。

## ～山ちゃんの旅日記～ その2

2病棟 山吉広尚

今回は、僕の地元(三次市吉舎町)のお祭り「辻八幡の神殿入り」を見に行ってきました。このお祭りは、広島県の無形民俗文化財に指定されています。そもそもこのお祭りは、天長8年(西暦831年)に豊後国宇佐八幡宮の分霊を勧請したことになります。午後9時頃、氏子達は各集落・各家から5~10個の燈籠を取り付けた竹を持ち太鼓を打ち鳴らしながら宮平橋のたもとに集まります。そして、打ち上げ花火を合図に宮司を先頭にして神社へ参拝します。参拝途中の田んぼには、手作りの大きくきれいな燈籠が何体もあり、大勢の人がカメラを片手に燈籠を撮影していました。今年のお祭りは、10月9日(土)です。みなさん、機会があれば足を運んでみて下さい。

